

委託業務に係る進捗状況報告

1. 団体調査

市内のスポーツ活動に取り組む団体や個人教室の活動実態を対話やアンケート等により調査し、部活動の地域移行に関する方針を説明し、中学生等の受入や指導等に関する意向確認を行う。

1) Google フォームを活用したアンケート調査(目標数:500 団体)【9月27日時点 45 件回答有】

→全 82 項目(団体等の基本的な内容 66 項目 地域移行に関する内容 16 項目)

- ・現状把握及び中学生受入交渉のための情報収集→受入交渉→地域クラブ総合サイト(仮称)へ掲載予定。地域クラブ総合サイト(仮称)準備中
- ・現時点までのアンケート結果抜粋→別紙参照

2) 対話式での聞き取り調査【9月27日までの実績数 31 件】

- ・現状把握及び課題、問題点の洗い出し、地域移行に関する方針等の説明

●調査実績数(8月4件)

28	周陽軟式野球倶楽部	事務局	植木 新 様	新規クラブチーム
29	周南ジュニアテニススクール	事務局	金重 文男様	スポーツ少年団・クラブチーム
30	周南市柔道協会	事務局	永富 明彦様	加盟競技団体
31	扱善剣道スポーツ少年団	事務局	福田 啓介様	スポーツ少年団

3) 9月以降調査予定

- ・既に中学生を受け入れている(中学生の登録がある)スポーツ少年団やクラブチーム及びスクールに
対話式での聞き取り調査
- ・Google フォームを活用したアンケート調査の継続

4) 聞き取り調査の反応

(1) 具体的な内容(抜粋)

○目的・趣旨

【疑問】学校部活動の教育的意義や役割を継承する活動(県方針素案より)

方針素案に内に、「地域クラブ活動は、学校部活動の教育的意義や役割を継承する活動であることを踏まえ」や「体力や技能の向上を図る目的以外にも、異年齢との交流の中で、生徒同士や生徒と教員等との好ましい人間関係の構築を図り、学習意欲の向上や自己肯定感、責任感、連帯感の涵養に資するなど、学校という環境における生徒の自主的で多様な学びの場として、教育的意義を有してきた。」などの文章からも、中学校教諭が関わることで、教育的意義を持ちつつ導いていけると思われ、多様な学びを生徒に与えることができる。そのような能力を地域スポーツ指導者が有しているとは思えない。

○物資・金銭面

【課題】 競技備品の購入(先行投資)と金銭的循環(会費と会場費や謝礼のバランス)

【課題】 スポンサー制度の構築(賛助会員へのメリット等)

税金免除等が出来るのか。又ユニフォームに企業ロゴを入れる等してスポンサーへなにかしらのメリットになるようにしたい。

【要望】 立ち上げ時の助成制度の構築(競技備品購入に際して)

中学生規格のボール(練習用)の買い揃えや成長期で備品を新調する等、競技をする上で中学生に応じた規格の備品が必須である。その為、初動でかなりの出費が予測される。是非、周南市にて助成制度を確立されて、中学生を積極的に受け入れるクラブへの支援をお願いしたい。

【課題】 永続的な組織運営(マネジメント管理)の確立

地域クラブの運営を一人の役員がすべて行うのではなく、集団での透明性のある運営が望まれる。

運営業務を分業(分担)制にして、数カ月から1年で担当替えをすることで、特定の人に頼らないで済むものにした。地域クラブ運営マニュアル的なものを共有して、各クラブの永続性に寄与できるとよい。

具体的には、会計・集金マニュアル、出欠席管理マニュアル、情報伝達システム、行事予定表、のようなものが、ICTを活用し、誰でも簡単な労力でできるように早急に開発していくことが望まれる。

○人的要素

【要望】 公立大・高専との連携協力

学生の活用、若い指導者・運営スタッフの発掘 (市体育協会の指導者養成講座の開設)

加盟競技団体から数名ずつ、将来指導者として育成したいと思う有望な人物(競技力・人間力)で、高校3年から社会人3年目程度の若者を選出する。

定期的に指導者として必要な知識とスキルを学べる場を設ける。座学と現場実習を通して、指導者から子ども心理や意欲の高め方を学ぶ。又、見学した現場での様子を振り返りながらのディスカッション・発表も高い資質向上を図る。

指導現場へインターンシップを行い、将来を担う人材育成と同時に現場への紹介・橋渡しも行う。

専門的知識を有する大学・高専にリーダーシップ要望

専門的知識を有する講師に、講義カリキュラムの策定と実践的な指導を担っていただきたい。

○時間的要素

【要望】 時間的配慮(放課後から次の活動までの空白時間の過ごし方)

現在の周南市が理想とする形は多様なニーズをもった意欲的な中学生への配慮はなされているものの、時間的配慮(放課後の空白時間 15:30～18:00)や目的を持たない子どもたちの行き場の確保はなされていない。ある程度の集団の流れを示すことで、明確な目標目的を持っていない中学生を拾い上げることが可能かと思われる。(保護者も学校内での活動なのであれば安心)

○情報発信・情報提供(広報面)

【要望】 小学4～6年生への地域移行に関する情報提供

正しい情報を市内全小学校高学年に提供し、不安感や戸惑いをなくす取り組みを早急に行うべき。

市教委からの方針の説明だけでなく、市内の受け入れについての情報も具体的に伝えてもらいたい。

○施設整備

【要望】 既存のテニスコートに夜間照明の増設・老朽化の対応(修繕・改修)

周南市庭球場(全面照明設備)、新南陽浄化センター庭球場(6面)、富田中学校テニスコート(4面)、徳山商工高テニスコート(可能ならば)、周陽中学校テニスコート(合同ガス側に新設された場合)等が候補。

【要望】 市内屋外・屋内体育施設の施設使用料改定(クラブチーム定期利用への配慮:安価な料金設定)

【課題】 市内公共施設の利用(現在小学校体育館の利用以外で)

具体的には学び・交流プラザ武道場をもっと利用できると良い。

【課題】 市内公共施設の空調設備の設置(活動が想定される施設を対象に)

具体的には学び・交流プラザ武道場。富田中学校武道場に空調設備を配備し、学校施設との仕切り(フェンス等を設置すれば部外者の進入も止めることができるのではないか)を行えば地域の方へも安心して利用できるのではないか。

【要望】 総合SCの大型ビジョンの活用(活動PR)

大勢来館される土日祝に大型ビジョンに「スポーツ少年団紹介動画」を繰り返し流すなど、PRに活用させて頂けると非常にありがたい。

○運営面(入会につながる活動)

【課題】 体験会の企画立案と運営(市内チームとの連携)

県連盟からも登録者数の減少を食い止めるように市町へお願いされるが、県競技団体の具体的な方策(県主催での体験会など)が出されない為、どのように競技に関わる人を増やせばよいか悩んでいる。また、市連盟内のベテランの先生方の志向や競技スタイルあるいは指導方法等の相違から合同での体験会等、協力体系が行き届かないことが多い。(現在も旧市町の連盟が支部として残っており、市連盟として一枚岩で行っていない。) 風習(伝統的考え)から現在風にアレンジした練習方法や子供の興味の引くような道具などが許されない傾向にあり、初心者や素人の受入を難しくさせていると感じる。

2. その他(仕組構築状況、教室、フェスタ、シンポジウム等)

1) スポーツ団体・指導者を対象とした研修会

10月方針策定後、具体的な講義内容を決定し、該当する講師を招聘(日程、会場等調整を図る。)

2) 休日クラブ実証事業(中山間部の児童・生徒へのスポーツ体験機会の創出)

11月11日(土) 9:00~11:30 周南市立須々万中学校

11月19日(日) 9:00~11:30 周南市立鹿野中学校

11月25日(土) 9:00~11:30 周南市立熊毛中学校

で最終調整中。内容は、体験①でパーソナルトレーナーによる全体指導、その後体験②で参加者のニーズに応じて競技等を選択しての体験会を実施する。10月初旬より募集開始予定。

3) しゅうなんスポーツフェスタ・パラトリウム大会

10月9日(月・祝)開催予定。

9月26日(火)に関係団体と開催前の最終打合せを実施。地域移行に関するブースも設置し、周南市の地域クラブの方針等を掲示しながら来場者の機運を醸成するようような取組から周知を図りたい。

4) シンポジウム

12月23日(土)学び・交流プラザで計画中。

シンポジウム開催の目的、対象者、当日の流れ・内容(講話者・パネリスト・司会者など含む。登壇いただく有識者の選定)、周知方法等を関係機関(文化スポーツ課、学校教育課)と協議中。